

2025 岩国行動 スタート

8月1日、エル・おおさかにて
[全国で進む戦争準備と岩国][全
国の連携と課題]2025岩国行動ス
タート集会に執行部4名で参加し
ました。

2007年より、岩国労働者反戦
交流集会は岩国基地拡張に反対し、
地域住民と連帯や労働者の反戦・
反基地闘争の交流集会をしており、
その前段として岩国行動スタート
集会が開催されています。

開会あいさつ、実行委員会結成
報告の後「戦争を止めるためにつ
ながろう！岩国と呉の現場から」
を、新田秀樹さん（ピースリンク
広島・呉・岩国 世話人）から講
演を受けました。西日本から琉球
弧にかけて軍備強化、軍事訓練、
多国間軍事演習の強度化、軍事費



が飛躍的に増大し、戦争準備が加
速度的に進められています。岩国・
呉をはじめ関西にも配備されてい
る防衛施設などの現状や、2023
年に閉鎖された日本製鉄瀬戸内製
鉄所呉地区についても詳しく現状
報告されていました。そして岩国
基地の役割は飛躍的に強化され、
活発な訓練による周辺住民の被害
も増加しています。

全国各地の弾薬庫拡大や、沖縄・
南西諸島での自衛隊基地設置・強
化は一層すすめられており、特定
利用空港・港湾という形で、既存
の空港や港湾も動員されようと
しています。反戦・反基地の声をあ
げてたたかきましょう！

＊今年の岩国行動は12月13・14
日を予定＊

※拡がる軍事施設参考資料

◆◆中国四国地方 主要防衛施設配置状況
(中国四国防衛局HP)

<https://www.mod.go.jp/rdb/chushi/about/facility/images/haichizu.png>

◆◆近畿周辺 軍事・核施設マップ
(しないさせない戦争協力関西ネットワーク)

https://no-war.sakura.ne.jp/network/totikiseimapVer1.2-1_site.pdf

(執行部 宮脇)



トラック懇話会第14回総会

トラックの将来を考える懇話会・
近畿 第14回定期総会を8月2日、
道頓堀ホテルにて参加者72名で
開催しました。

来賓者として辻元清美（立憲民
主党所属・参議院議員）、尾辻か
な子（立憲民主党所属・衆議院議
員）、岩井勝彦（大阪府トラック
協会専務理事）からあいさつをし
て頂き、「適正な運賃の収受による
の改善をはじめ課題を解消すべ
く連携しながら、しっかりと取り

組んで参ります」と述べました。

南海代表からは「中小企業は厳
しい状況に於かれています。議員
と協力と行政への要請を強化し、
適正な運賃収受を早期に実現した
い」とあいさつされました。

陣内事務局長から方針提案とし
て、「懇話会は適正な運賃収受に
向けて、信念を曲げずに、14年
間訴え続けてきました。少しかも
わかりませんが適正原価の告示制
度が創設され義務化することにな



りました。

来期も行政交渉やセミナーの取
組み方をマンネリ化せず、会員
企業や労組が意見交換することで
懇話会の継続と、利潤を含む運賃
収受に向けて努力していきます」
と報告しました。総会后、懇親会
では意見交換や交流を深めること
ができました。（陣内）

8・15 訪韓レポート

国民が国を変えるのだ！

8月14日～16日の3日間にか
けて「光復80年 平和・主権・歴
史正義 実現 汎市民大会」参加の
ため訪韓してきました。

光復80周年ということで昨年
から準備をし、日韓平和連帯とし
て総勢47名、韓統連として50名
近い団をそれぞれ形成し、行動を
共にしました。

◇懇親会場が一体となる

1日目の夕刻、現地の議員や市
民団体の方々との懇親会があり、
韓国国内の情勢や集会に臨む決意
などを述べられました。日韓平和
連帯からは西山代表が決意表明を
し、時間が許されるまで各々の思
いや決意を述べ、また歌で想いを
伝え、懇親会場が一体となり大き
な団結となりました。

◇2日目

2日目の日中、「戦争と女性の
人権博物館・平和の少女像」と
「チョン・テイル記念館と記念像」
を2班に分かれて参観しました。

夕刻、集会会場わきに設置され
た多くのテントで「統一ピビンバ」
が振舞われました。19時より集
会が始まり、何百メートルもある
道路を多くの人で埋め尽くし、各
団体からのアピールによって参加
者は拍手やシュプレヒコールを上
げ、盛り上がりは最高潮に達しま
した。



◇21時からデモ出発

21時よりデモ行進が始まり、
届け出をしているにもかかわらず
現地警察からデモ行進の妨害が繰
り返され、デモ隊は負けじと間を
潜り抜け、デモ貫徹に向けて躍起



となりました。

◇2日間の行動で感じたこと

国家権力に対して立ち向かい
「国民が国を変えるのだ！」とい
う気持ちを、韓国国民は一人ひと
りが強く持っていることです。

日本国民も多くの方がそのよう
な気持ちで今の権力にまみれた社
会に立ち向かい、私たちの後を生
きる世代のため、安心して暮らせ
る社会を構築していかななくては
なりません。

（副執行委員長 横山 貴安基）

◇参加青年部感想◇

光復80年の節目に参加し、歴史の重みと平和の尊さを改めて
感じました。過去を忘れず、未来へつなぐ責任を心に刻みま
した。

戦争と女性の人権博物館を訪れ、被害者の苦しみと尊厳を深
く学びました。平和と人権を守る大切さを強く実感しました。
まだまだ勉強不足ですが色々と学んで行きたいと思います。

大阪支部大正埠頭分会 平澤 悠磨

光復80周年のデモにも参加させてもらいました。
他にもチョンテイル博物館に行ったり、色々な体験をさせても
もらいました。どれも初めての体験で、すごく刺激をもらえまし
てすごくいい経験になりました。

特にデモは見たこともない人数の人が集まり、まるでパレ
ードかのように若者が多く、デモ行進を楽しんでいました。今回
の経験を活かし、これからも頑張りたいと思いました。

大阪支部大商分会 佐久原 秀大